

商務省-商務省デジタル戦略



図1 優先課題

商務省のミッション: 経済の成長と、その機会を作り出すことである。

デジタル戦略目標(2014-2018)は、経済成長・技術競争力・持続的発展を促進するインフラを整備することによって、国民すべてのために雇用の創出と生活水準の向上を図ることである。

そこには、事業や政府の意志決定のための経済的、人口学的データを収集すること、特許や商標の権利を付与すること、工業分野の標準化を推進することが含

まれる。

その優先課題は:

1. **貿易と投資:** 市場と顧客への企業のアクセスと、世界中からの投資の支援
2. **イノベーション:** 米国の製造と新技術の復活を促進し、活気に満ちたデジタル経済を確保し、産業界主導のスキルとトレーニングの成果の成長を助ける。
3. **データ:** ビジネスリーダーが最善の意思決定を下せるように、より多くの政府データを公開し、より多くのスタートアップを生む基盤を作る。
4. **環境:** 変化する地球に適応して、環境を保護し、ビジネスとコミュニティを支援する。
5. **オペレーショナルエクセレンス:** 職員が使命を達成するために必要なツールと知識を完備し、より顧客中心の文化を育成する。

* この目標を達成するのが [デジタルガバナメント戦略](#) である。

戦略目標 A.情報中心(第一原則)

戦略目的 1. オープンデータ、コンテンツ、および [Web API](#) を新しい基盤とする:

[Gartner 社](#)によると、2018 年までに、デジタルガバナメントプロジェクトの 40%以上がどのようなデータもオープンデータとして取り扱うようになる。(図 2)

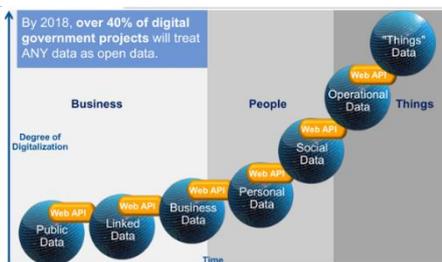


図2 オープンデータ

実施計画: 1.2. すべての新しい IT システムがオープンデータ、コンテンツ、[Web API](#) 政策に従っていることを確認し、商務省データ開発者プログラム [Commerce Developer Program](#) を運用する。

1.2.1. オープンを基盤とする新しい IT システムを構築するための文書政策を作成する。

将来の情報システムとサービスが [オープンデータ政策](#)

([M13-13](#)) に準拠し、[API](#) を活用するための既存のシステムを更新するために、商務省は既存のプロセスとワークフローに対するデジタル戦略、オープンデータの要件、[ガイドンス](#) とを統合する。そのために、[CIO オフィス](#) は、プロジェクトのデータオープン性と相互運用性を検証し、確認する。

1.2.4. オープンデータ日程計画は [Enterprise Data Inventory \(EDI\)](#) の要約をする。

商務省のデータの量と複雑さを考え、行政管理予算局 [OMB](#) と [GSA](#) と協力して、OMB の方針に準拠した [EDI](#) を構築する。しかし、商務省は、まだ数百万のデータセットを単一のデータ管理システムに完全に統合するための作業を終えておらず、継続中である。

1.2.5.オープンデータの日程計画を実施する。

・マイルストーン 1: [EDI](#)を進める(2014年2月28日終了)。まず商務省のデータセット [Enterprise Data Inventory \(EDI\)](#)を増やす。現在は約4万データセットを公開している。オープンガバナメント指導者 [Open Government Senior Leaders \(OGSL\)](#)は、商務省のCIO、データスチュワード [Data Stewards](#)、大統領府のパブリックサイト [Data.gov Points of Contact](#)と協働し、さらに商務省プライバシー・オープンガバナメント局 [Commerce Office of Open Government and Privacy](#)と引き続き協力して、追加の公開、非公開、および限定公開のデータセットを特定し、優先順位付を行う。

・マイルストーン 2: (2月28日-3月31日)マイルストーン1の改定をした [EDI](#)を [OMB](#)に提出する。

・マイルストーン 3: 現在公開しているパブリックデータセット [Public Datasets](#) は [商務省](#)が持っているデータセットの1%以下である。さらなる向上をはかる。

1.2.6.顧客からのフィードバックプロセスを開発する。

[商務省ホーム Web ページ](#)に、顧客からのフィードバックサイト [Commerce.Gov Feedback](#)を立ち上げた。この中には、商務省が推薦する推薦データセット [suggest a dataset](#)を [Department-level Github account](#)などのソーシャルメディアに接続できる「[Engage](#)」ツールセットも含まれている。最高データ責任者の [CDO オフィス](#)は顧客の質問、コメントを受け付ける「[オフィス・アワー](#)」を開始した。商務省データアドバイザー協議会 [Commerce Data Advisory Council \(CDAC\)](#)も全省庁のために産業界からのフィードバック・チャンネルを設置した。

1.2.7 商務省 [データセット公開プロセス](#)を公開する。

戦略目的 2 既存の価値の高いデータとコンテンツを Web API を通じて利用可能にする。全省庁は共通のオープン標準を使わなければならない。この標準はモバイルのウェブサイトにも適用する。
実施終了日程: 2014年5月31日

2.1 新しいオープンデータ、コンテンツ、商務省の [Web API ポリシー](#)に準拠するための第一候補として、価値の高いデータまたはコンテンツを含む少なくとも2つの既存の主要な顧客対応サービスの特定を顧客と連携を図る。現在進行中。

2.1.1. [カスタマーエンゲージメント](#) を実施する。

顧客の声を聞くために、ブログ、[FACEBOOK の poll](#)、Tweets を利用している。商務省のフィードバックシステムを改善するために、以下の処置をとった:

・[data.commerce.gov](#) の Web ページに、「[データセットの提案](#)」Web フォームと、ソーシャルメディア経由で接続するための「[Engage](#)」ツールセットを含む機能を追加した。

・[商務省の Github](#) で [パブリックリポジトリ](#)を公開し、投稿に回答している、

・チーフ・データ・オフィサー・オフィス [CDO オフィス](#)に「[オフィス・アワー](#)」を設け、市民からの質問とコメントを提示している。

・商務省全体の産業界からのフィードバックを導き出すことを目的とした [CDAC](#) を立ち上げた。

2.1.2. システム(データセット)のリストの作成する。

[Export.gov API](#): 対象利用者: [国際輸送代理店業者連盟](#)

[Census API](#): 対象利用者: 経済・人口データ利用者

2.2. Web [API](#) を介して少なくとも2つの既存の主要な [顧客対応システム](#) で高価値のデータとコンテンツを公開する。進行中

2.2.1. 将来計画を作成する。

政策: [Commerce.gov](https://www.commerce.gov) は 2013 年 3 半期末までに、いろいろな [コンテンツ API](#) を、[BEA](#) はデータ API を提供する。

2.2.2. [Commerce.gov](https://www.commerce.gov) は 2 つ以上 [Web API](#) を利用可能にする。

戦略目標 B. 共有プラットフォーム (第二原則)

戦略目的 3. [デジタルサービスイノベーションセンター](#) とアドバイザリーグループを設立する: これは連邦政府の全機関横断のプロジェクトなので [OMB](#)、[GSA](#) が担当する。

戦略目的 4. デジタルサービスの提供を改善するための機関内ガバナンスの確立する。

各省庁がデジタルサービスとデータ資源を活用出来るようにするために [デジタルサービス支援グループ](#) を設立し、指針を作成し、支援する。

実施計画: 4.2. 商務省全体のデジタルサービスの開発と提供を確立する。

4.2.0 商務省のデジタル戦略ガバナンスを確立する。

デジタル製品のコミュニケーションと監督を強化するために既存の枠組みの中で取り組んでいる。

市民と連携するオフィス [Office of Digital Engagement](#) はモバイル用ウェブ作成方針と成功事例 [Web Policies and Best Practices](#) を立ち上げた。[チーフデータオフィサー](#) (CDO) のオフィス [Office of the Chief Data Officer](#) も設立した。

戦略目的 5. 連邦政府全体の資産管理および調達モデルをモバイルモデルへ移行する。[GSA](#) は全省庁でモバイルと無線サービスによる調達を確立する。

[連邦政府 CIO 協議会](#) は [デジタルサービス支援グループ](#) と協働で企業モバイルアプリを政府機関に導入する。

実施計画 5.2. モバイルとワイヤレスサービス契約の [企業全体のインベントリ](#) を開発する: 完了

5.2.1. 無線とモバイルの API の開発をする。進行中

実施計画 5.3. すべての新しいモバイル調達の評価方法について政府全体の契約システムを評価する。進行中 [GSA's BPA](#) を使用する。

戦略目標 C. 顧客中心 (第三原則)

戦略目的 6. 最新の情報ツールと技術を使った、より良いデジタルサービスの提供をする。

実施計画: 6.3. すべての新しいデジタルサービスが [改善指針](#) に沿っていることを確認する: 進行中

戦略目的 7. モバイルで最優先顧客向けサービスの改善をする。

[GSA](#) は各省庁のモバイル移転プロジェクトの重複を防止し、共有を推進する。

実施計画 7.1. 顧客と連携して、少なくとも 2 つの既存の優先顧客対応サービスを特定して、モバイル利用を最適化する: 進行中

7.1.1. [顧客エンゲージメント](#) を作成する。

Facebook tweets など顧客からのフィードバックを求める

7.1.2. データセットの利用者優先順位付けをする

[NOAA Coast Survey Maps](#): 対象利用者 = レクリエーションのボート乗り

[Census mobile app](#): 利用者: 対象利用者 = 人口統計データ利用者

実施計画 7.2.モバイル利用のために少なくとも2つの既存の優先顧客対応サービスを最適化し、既存のサービスを改善する

7.2.1 モバイルサービス API を実装する

第三四半期末までに [Commerce.gov API](#) と [BEAs API](#) を導入する

戦略目的 8.デジタルサービスを改善するために稼働状況と顧客満足度を測定する
測定を支援するために[デジタルサービス・イノベーションセンター](#)が共通のツールを確認する。

実施計画 8.2.[gov Websites](#) でのパフォーマンスと顧客満足度ツールの実装する:完了

8.2.1.[パフォーマンス測定ツール](#)を実装する

8.2.2.[顧客満足度ツール](#)を実装する(最新改定日 2015 年 5 月 28 日)

戦略目標 D.セキュリティ・プライバシー・プラットフォーム(第四原則)

戦略目的 9.新情報技術の安全で、確実な導入プロセスの推進する。

戦略目的 10.セキュリティとプライバシーのプロセス評価と合理化を推進する。

9.と10は全省庁を横断して [DHS/DOD/NIST](#) が担当する。



図3 商務省組織

#商務省のデジタルガバナメント作業チーム構成:

約47000人、12局からなる商務省のデジタルガバナメント作業チームは [Office of Digital Engagement](#) が中心となり

全局から参加している。(図3)